



すてなか

荻田町青少年育成町民会議だより

もーし、やってみよう!



▲お母さんより早く出来たぞ。



▲ベースボール
ジャンケン



▲中島先生を囲んで・・・

親子ふれあい講座
「親子であそぼう!」開催

1月30日(日) 昨年に引き続き、親子ふれあい講座を総合体育館にて開催しました。約100名の親子が、わいわい、がやがや、とことん楽しく遊び通しました。

言うことを聞かないのは、 子どもの自立が始まった証拠。

思春期や反抗期がくると、身体の成長に心の成長が追いつかず、ちょっとしたことで有頂天になったり深く傷ついたりします。また、異性や性への興味が高まる、自我が強まり親や先生がうとうとしくなる、秘密をもつなど、成長という変化の中で心が最も不安定になります。ですから、子どもが言うことを聞かなくなっても、いたずらに動揺したり抑えつけたりする必要はありません。子どもの自立や親離れが始まった証拠です。むやみに干渉し過ぎず、子どもの力を信じてあたたく見守りましょう。

しかし、それは腫れ物にさわるような接し方とは違います。冷静に子どもの姿を見つめ、常に会話を重ねる努力をしましょう。



演題 講演会『私にもできる 生教育』

内田産婦人科助産師 内田 美智子 氏

日時 平成17年2月26日

場所 苅田町三原文化会館



核家族化・少子化・地域連帯感の希薄化などにより、子育てに対する不安や孤独感を感じる親が増えています。

そこで内田先生に現代社会に対応した子育てのサポートをわかりやすく、お話していただきました。

共催 ●新津中・苅田中学校校区
いじめ問題等対策協議会
●苅田町青少年育成町民会議
いじめ防止協議会

福岡県における平成15年中の少年非行の実態

昨年、福岡県警察から発行された小冊子「^{そとく}碎啄」から、福岡県における少年非行の実態を紹介します。

少年非行は戦後その時代の社会情勢の変化を背景に、3つの大きなうねりを見せながら推移し、今日に至っています。現在は、昭和57年を中心とした経済安定成長期の第3のピーク後の減少から増大に転じた第4のピークにあります。平成15年中に県下で検挙補導された刑法犯少年は12,134人で、前年に比べ3,521人増加しています。成人と比較すると、全刑法犯検挙人員24,786人の内、約半数（49.0%）が少年と言うことになります。また、全国との比較では、刑法犯で検挙補導された少年の数は、東京、大阪に次いで3番目に多くなっています。

少年非行の特徴としては、過去10年間で最高の検挙補導数となっており、平成13年から3年連続で増加しています。車上ねらいや自転車盗といった街頭犯罪の7割が少年で占められています。特に、シンナー等の乱用により検挙補導された少年は814人で、4年連続で全国1位となるなど、大変憂慮すべき状況にあると言えます。

罪種別では、窃盗犯が全体の51.5%（6,252人）を占め、殺人・強盗などの凶悪犯は113人で、前年に比べ35人増加しており、逆に粗暴犯は854人で、前年

に比べ117人減少しています。

女子非行は全体の21.1%（2,561人）で、窃盗犯が最も多く、その内万引きが女子非行全体の約半数（52.5%）を占めています。

この他、深夜徘徊や喫煙などで不良行為で補導された少年は72,471人で、前年に比べ26,448人と大幅に増加しています。この様に、福岡県では少年非行は増大、深刻化する傾向にありますが、少年非行の入口と言われる「初発型非行」を見逃さず、早期に適切な対応を取ることの重要性を少年非行の実態から読み取ることができます。

福岡県では、警察に専門の少年補導職員を置き、また地域には少年補導員が少年健全育成活動や少年相談活動を行っています。非行問題、交友問題、学校問題等少年の悩みや困りごとは、社会や地域の問題として取り組み解決する必要があります。

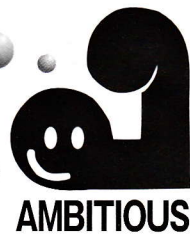
※「犯罪少年」罪を犯した14歳以上20歳未満の少年をいいます。

「触法少年」刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年をいいます。

「刑法犯少年」刑法に規定する罪を犯した犯罪少年及び刑法に触れる行為をした触法少年をいいます。

（少年補導員 金丸晴樹）

第2回 馬っ子通学合宿 1週間がんばったぞ！



アンビシャス通信

主催 馬場校区アンビシャス広場

今回で2回目になる通学合宿です。テレビやゲームのない1週間。食事の支度から洗たくまで、自分たちの力でやりぬきました。

場所→中央公民館
期間→12/5～12/11

今回の俳句は子どもたちの心をよく表していました。

ふりかえりの俳句

- 12/5 こんにちは そのひとことは いいことば
- 12/6 協力だ みんなですれば 楽になる
- 12/7 魚つり つりざおもって 海にでる
- 12/8 たのしいな 4人でさわいだ おふろばで
- 12/9 はじめてだ 中国料理 ありがとう
- 12/10 さいごのひ ねれないでいよう がんばるぞ
- 12/11 来年も 通学合宿 またきたい

子ども育成 支援ボランティア募集

平成17年度 荻田町子ども会育成連合会のイベント・遊びの広場等に持っている力をお貸し下さい。元気いっぱいな子ども達の笑顔をエネルギーにして一緒に成長・育成に携わっていきませんか。



一人でも多くの方達の協力・支援のもと、幅広く有意義な子ども会活動に行きたいと思っています。皆様のご協力をお待ちしております。



お問合せ先

荻田町子ども会育成連合会 会長 田口朝子
TEL 090-4589-3200

事務局 荻田町中央公民館内

地域活動指導員 金丸克人

TEL 093-436-0061(内線)293

FAX 093-434-0456



主催 荻田町子ども会育成連合会
共催 荻田町立中央公民館

夜須高原宿泊研修会

場所 国立夜須高原少年自然の家
期間 2月11日・12日

「ボブスレーができればよ！」のふれこみで、43人のインリーダー！ジュニアリーダー！中央公民館からの応募のお友達とスタッフ9人、総勢52名で夜須高原に行ってきました。

大自然の山の中をフイールドビンゴで歩き回り、夜には大きな天体望遠鏡で土星を見ました。回りの輪までくつきり見えて感動でした。2日目には、待望のボブスレー。映画「クルランニング」をイメージしながらいざ出発。想像以上のスピード感でした。

「家庭の日」・「オアシス運動」町内入選者

※皆さん、入選おめでとうございます。

前号のつづき

あいさつ

荻田小2年 吉田大亮

ぼくは、子犬をかっています。それでさんぽにいつもいっています。そのとき、子犬はほかのさんぽをしている人のすがたを見るとすぐにほえていきます。それで、「こんにちば。」と、あいさつをして、そのかいぬしの人と話をします。それから、ときどきあって「こんにちば。」とあいさつをしています。「こんにちば。」と言ったら、あいての人がわらって、「こんにちば。」と言ってくれるから、私もよくやるんだとおもいました。

「こんにちば。」のほかに、あいさつには、「おはよう。」「こんばんは。」「ありがとう。」「ごめんなさい。」などがあります。ぼくが、なかなか言えないのは、「ごめんなさい。」です。弟とボクシングをしていたら、つよくうってしまいました。それできゆうに弟がなきました。ぼくは、すぐにあやまろうとおもったけど、「ごめんなさい。」と言えませんでした。弟はすごくないで、ぼくをたたいてきました。ぼくは、やりかえしてはいけなとおもいました。それで弟がまたたたいてきたので、大ゲンカになりました。ぼくが、すぐにあやまらなかつたら、そんなことにならなかつたらとおもいました。「ごめんなさい。」は、とても大それたあいつだとおもいました。ぼくはこれからわるいことをしたら、すぐにあやまれるようにしたいとおもいました。

たくさんあいさつができるようになって、自分もあいてにも、うれしい気分にする人になりたいとおもいます。

元氣におはようございます

与原小5年 大坪史果

私の委員会活動では、毎月二回、校門に立ち、あいさつ運動をすることになっている。でも、私はどういふ風にあいさつ運動をしたら良いのか、よく分からなかつた。だから、私は、六年生を手本にしてやれば良いとおもいながら校門に立っていた。すると、三年生が三人やって来た。

「おはようございます。」

と私はいった。しかし、めんどくさいな、という気持ちがあつたので、あまり力のない声であいさつをしてしまった。でも、その三年生達は、げんきよく、

「おはようございます。」

とあいさつをしてくれた。私は、少しうれしい気分になった。「次からは、元氣にあいさつをしよう。」すると、次々一人ひとりの顔を見て、元氣よくあいさつをした。

「おはようございます。」

私が元氣にあいさつすると、相手も元氣にあいさつを返してくれた。さつきより、とてもうれしい気分になった。

私は、あいさつ運動をするようになって、このような事を思うようになった。あいさつを、めんどくさがつていやいやしたりしても、相手が良い気持ちで返してくれないし、自分もすっきりしない。だから、あいさつをするときは、元氣よく、大きな声で、はきはきとすることが、気持ちのいいあいさつの手段ではないかと思う。そういうあいさつをしたら、相手も自分もいい気分になると思う。

私は、あいさつは人をいい気分にさせたり、笑顔にさせたりできるものだと思う。そして、これからは「元氣よく、大きな声で、はきはきと。」をモットーに、あいさつをしていきたい。

二年 白石ゆうか とも	二年 白石ゆうか 友	三年 岡本まりな 声	四年 千代丸 祐実 会話	五年 廣瀬理子 希望	六年 泉 弘 幸 笑顔	中二 吉田 香純 生命 尊重	二年 藤田凌平 友
片島小1年 松 本 七 海	馬場小2年 白 石 侑 華	馬場小3年 岡 本 真 里 奈	南原小4年 千 代 丸 祐 実	馬場小5年 廣 瀬 理 子	荻田小6年 泉 弘 幸	荻田中2年 吉 田 香 純	荻田小2年 藤 田 凌 平

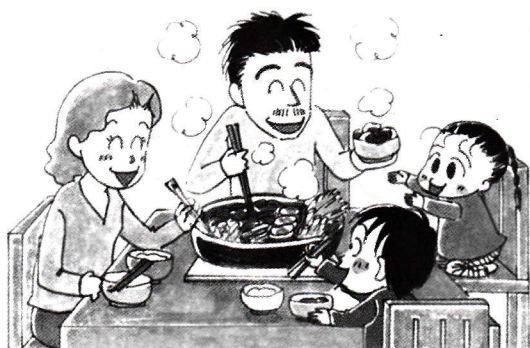
家庭の日

与原小5年 大松幸歩

私は、夏休みの目標で「一日に手伝いを3つする」という目標を立てました。夏休みに入って始めはぜんぜんやっていませんでした。

ある日、机の上をかたづけると目標カードがありました。私は、そのカードを見て「今日からしつかり手伝いするぞ。」という気持ちになりました。その日の夜、食器洗いをしました。次に日からも、ミニトマトに水をやったり、くつならべや洗濯物をほしたり取りこんだり、お米を洗ったりいろいろお手伝いをしました。特に、一番がんばったのはトマトの水やりです。ただ、水をやるとの楽な仕事だけど毎日やりました。せっかく物をとりこむのもたまに忘れる時もあったけどほぼ毎日取りこみました。食器洗いもお母さんが疲れている時などにやったりしていました。夏休みは、おばあちゃんが来てお昼を作ってくれます。だから、おばあちゃんがお昼を作っている間にお茶わんをだしたり、はしをならべたりもしました。たまにしかやらなかつたけどお米洗いもしました。こうやっていつも手伝いをしてるとお母さんが、「いつも、手伝ってくれるからうれし。」って言うてくれるけど、私も「ありがと。」ってお礼を言ってくれとうれしい気分になります。夏休みの終わりに、「夏休み、よく手伝いしたと思う。」って聞いてみると、「よく、がんばったよ。」ととても助かった。」と言ってくれた。その時、とってもうれしくて手伝いやつて良かったなって思いました。2学期が始まるとあまり手伝いができなくなるけど「ありがと。」と言ってもらうためにこれからも一生けん命がんばって続けていこうと思います。

(作文は原文のまま掲載しています。)



毎月第3日曜日は「家庭の日」

16年度 県入賞者

部門	賞	学校名	名 前
標語	優秀賞	荻田中3年	有松 貴史
〃	奨励賞	与原小5年	木原 卓哉
作文	奨励賞	荻田小2年	吉田 大亮
書道	奨励賞	馬場小3年	岡本真里奈
〃	奨励賞	荻田小2年	藤田 凌平

—「うち」の家庭教育をそれぞれつくろう—

出会いふれあい！ 体験白川

白川小学校全校生徒

○もちつき
○昔の遊び
○紙飛行機飛ばし
○しめなわづくり
など
地域の方とさまざまな交流
を行いました。

白川小学校（全校生徒136人）は総合学習の一環として「出会い・ふれあい・体験白川」を行いました。十二月五日（日）に地域の方々や応援にきてくれた保護者の人たちと触れ合いながら、楽しい時間を過ごす事が出来ました。日曜日ということもあり、たくさんの方々に協力していただくことが出来ました。

昔の遊びとしては「おはじき」や「けんだま」を行いました。大人も楽しく参加し、子どもよりハッスルしている先生もいました。

もちつきでは、小学校5年生が育ててきたもち米を使ってたくさんつくることが出来ました。田植え、稲刈りと頑張つて育て収穫したもち米を上手にもちにすることができ、子どもたちはとてもうれしそうでした。もちや保護者の方が作ってくれた豚汁は、みんなのお昼ご飯になりました。

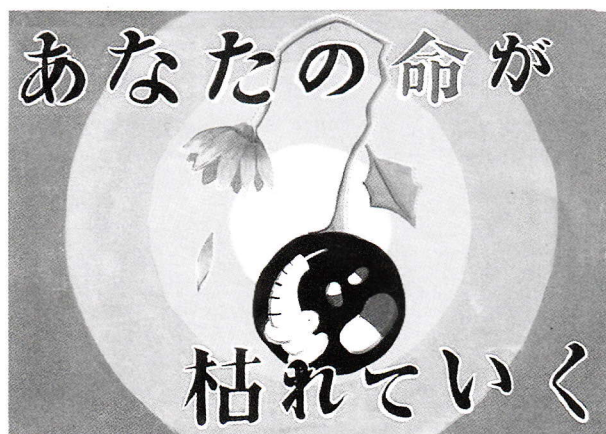
このほか地域の方の指導を受けリースやしめなわをつくりました。ちょうどクリスマスの前、お正月の前ということもあり、みんな真剣にとりくみとても素晴らしいものができました。



行橋・京都学校警察連絡協議会ポスター

（万引き防止、薬物乱用防止） 苅田中学校美術部が作成しました。

▼薬物乱用防止ポスター



▼万引き防止ポスター



行橋市内や苅田町内のいろんな施設にこのポスターが掲示されています。青少年の健全育成に役立ててください。



総 会



みなと祭り



悪 書 追 放



シンナー等薬物乱用防止講演会

新津中・苅田中学校区

いじめ問題等対策協議会 「標語」作品

- ・より道をしないで帰ろう いつも道 (苅田小)
- ・あぶないよ 明るいうちに帰ろうよ (苅田小)
- ・犯罪を防ぐ力はみんなの目 (苅田小)
- ・近くても くらい道は通らない (馬場小)
- ・登下校 防犯ブザーをポケットに (馬場小)
- ・あやしいぞ 知らない人が声かける (馬場小)
- ・暗い道 一人きりは赤信号 (南原小)
- ・のらないよ うまい言葉と知らない車 (南原小)
- ・気をつけよう いつも心に防犯ベル (南原小)
- ・思いやり 幸せ運ぶ おくり物 (白川小)
- ・泣いている人に 一声かけよう だいじょうぶ? (白川小)
- ・いじめをとめる きっかけは 一人一人の勇気から (片島小)
- ・いじめはね しても されても きずつくよ (片島小)
- ・傷つくよ その目 言葉 その態度 (与原小)
- ・その視線 心の奥に ささってる (与原小)
- ・知っている? されたおもみと したおもみ (新津中)
- ・考えて 自分の言った 一言を (新津中)
- ・大丈夫 そんなゆだんが事故を呼ぶ (苅田中)
- ・見ているぞ どこかでだれかが110番 (苅田中)
- ・なれた道 そんな道にも危険あり (苅田中)

※この標語(20点)は新津中・苅田中学校区いじめ問題等対策協議会と苅田町青少年育成町民会議いじめ防止協議会合同により校區ごと看板を作成し設置します。



オアシス人形劇



朝の声かけ運動



子どもフェスティバル



県民の集い苅田大会

編 集 後 記

私が参加した町民会議の
行事を振り返って

私達は、親子で町内の自然に親しみ、遊びを通して心豊かに育ってほしいと願い色々実行して参りました。
第一回 白石海岸での地引き網体験は、参加者の数が急増、準備も整いかけていた矢先、台風のため取えなく中止。

第二回 広谷湿原から貫山までの山歩き、雨の為、又中止、自然の猛威には、勝てず残念。

第三回 アジャタ大会 今度は屋根があるから大丈夫。親子チーム・チビッ子チーム・老人チーム・婦人チームが参加し「ウワッ」と歓声を上げ「アアー」とため息をつき、仲良しになった一日でした。

第四回 現福岡ソフトバンクホークス2軍監督の秋山幸一さんを招いて町民会議設立15周年記念県民の集い苅田大会は、中央公民館は満員になり、苅田つ子の野球熱の高さが伝わって来ました。

第五回 ふれあい講座「親子であそぼうパートⅡ」中島先生の遊びの術中にはまり、四才から八十才までが、トイレに行くのも・休みを取るのも・年の差も忘れ、二時間夢中で遊び通しました。最後に名前を告げ合い「又遊びたいね」と笑顔で別れました。

人は皆、何かを一緒にすることによって人を思いやり・助け合い・工夫する心が育つことを改めて感じました。
(編集委員 本多 澄子)

編集・発行

苅田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会

☎093・434・9838